

平成 2 2 年度 決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

農林水産部

# 目

# 次

I	平成22年度農林水産部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	6
III	歳入歳出決算額	15
1	一般会計決算額	15
(1)	歳入決算額	15
(2)	歳出決算額	16
2	特別会計決算額	17
(1)	歳入決算額	17
(2)	歳出決算額	18

# I 平成22年度農林水産部主要施策の成果の概要

農林水産業を取り巻く環境は、世界的な経済危機や食料危機、少子高齢化や経済・社会構造の変革、価値観の多様化などが進む中、輸入農林水産物への不安や、度重なる広域的な食品偽装、さらには日本の食料自給率が大きくクローズアップされるなど変化しており、国民の農林水産業への期待は大きく膨らんでいる。

こうした中、農林水産業は、食料の安定供給はもとより、県土保全や水源かん養、地域社会の安定や文化歴史の伝承など多面的な機能を果たしていかなければならない。

とりわけ本県の農林水産業には、生鮮食料供給地としての食料供給力の向上、明るさの実感できる地域経済社会の実現や雇用の場としての農山漁村の活性化、地球温暖化対策をはじめとした環境問題への対応、県民の生命と財産を守る自然災害対策など、早急に取り組むべき様々な課題がある。

このような農林水産業への期待に応え、様々な課題に迅速かつ的確に対応し、たくましい農林水産業を実現できるよう、県として取り組むべき「施策の方向性」を明らかにした「農林水産基本条例」を制定するとともに、基本条例を肉付けする「農林水産基本計画」を策定した。

平成22年度においては、「農林水産基本計画」に基づき、本県農林水産業の持続的な発展に向けた礎を築くため、他部局とも連携を深めながら、次の施策を重点的に進めた。

## 1 本県の特長を生かした豊かで充実した食料の提供

生鮮食料供給地として消費者の信頼に応えるとともに、県産品を活かした豊かで充実した「食」づくりを推進した。

### (1) 食料供給機能の強化による食料自給率の向上等

生産と消費の距離が近いという特性を活かした生鮮食料供給地としての責務を果たすとともに、本県の食料自給率の向上を図るため、食料供給機能の強化に努めた。  
(農林水産部)

### (2) 安全で安心な食料の安定的な供給のための体制の強化等

生産履歴管理制度を活用した「とくしま<sup>2</sup>農産物」認証制度をさらに普及させるとともに、農薬の適正使用の徹底、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病対策、産業動物獣医療の安定確保など家畜衛生の推進及び処理・加工、流通施設の近代化等により安全で安心な農林水産物の供給に努めた。  
(安全安心農業推進室・畜産課)

### (3) 食育・地産地消の推進

関係者と連携の上「第2次徳島県食育推進計画」を策定し、食育を総合的かつ計画的に推進した。

また、徳島県における「地産地消推進月間(11月)」において、県内消費者の徳島産に対する意識を高めるためのモデル事業を実施するなど、生産者、販売業者、消費者が協働で地産地消の取組みを展開した。  
(とくしまブランド戦略課)

## 2. 本県の特長を生かした活力ある農林水産業の振興

### (1) とくしまブランドの創出及び海外への進出

本県農林水産業を大きく飛躍させるため、「安全・安心」に裏付けされた農林水産物の供給力の向上や、高付加価値商品の開発、安定取引に向けた新たな販売方法の確立に取り組むとともに、「新鮮 なっ!とくしま」号の展開、「とくしまフェア」の開催をはじめ、県産物を活用する料理店や、食の専門家との連携など認知度を高める「徳島ならではの」のアピールにより「とくしまブランド」の確立を目指した。

また、世界にはばたく「とくしまブランド」を目指し、県産農林水産物の輸出促進を支援した。

(とくしまブランド戦略課・畜産課・水産課・林業振興課)

### (2) 活力ある農林水産業の振興

ブランド製品の産地育成に加え、積極的な農林水産業への参入の促進、生産者の経営安定対策など「攻めの姿勢」で本県農林水産業を飛躍的に発展させた。

#### ① 水田農業の振興

水稻と園芸作物等を組み合わせた活力ある多様な水田農業の振興を基本とし、戸別所得補償制度をはじめ新制度を活用して、米粉用米、飼料用米などの作付け拡大や、「徳島型水田農業」の推進などにより、水田の有効活用及び経営安定を図った。

(とくしまブランド戦略課)

#### ② 園芸農業の振興

各地域ごとに策定した「ブランド産地強化計画」に基づき、産地間連携による生産及び販売の強化に取り組むなどブランド産地の育成・強化を図った。

(とくしまブランド戦略課)

#### ③ 畜産業の振興

畜産業の振興と経営の安定化を図るため、自給飼料の生産拡大や生産性の向上等の経営改善にチャレンジする先進的な取り組みの支援、担い手を対象とした畜産物等価格安定対策、家畜改良増殖等を総合的に推進するとともに、「阿波尾鶏」等地域畜産ブランドの生産基盤の強化と販売促進に努めた。

(畜産課)

#### ④ 林業及び木材産業の振興

川上から川下まで一体となった「林業飛躍プロジェクト」により、高性能林業機械や高密度路網を組み合わせた効率的な搬出間伐を推進し、住宅部材、合板及びMDF用材として県産木材の安定供給を図るとともに、公共的建築物・戸建て住宅など様々な用途への県産木材の利用を推進した。

(林業振興課・次世代林業戦略室)

#### ⑤ 水産業の振興

高品質かつ安全で安心して消費できる水産物の安定的な生産及び供給を図るため、生産施設及び流通施設等の整備による水産物の品質の向上及び衛生管理の高度化を推進した。また、増殖場などの漁場整備を進めるとともに、効率的かつ効果的な種苗の放流による栽培漁業を推進した。

(水産課)

### (3) 優良な生産基盤の整備及び保全等

#### ① 優良な生産基盤の整備と保全

「とくしまブランド」農産物を効率的かつ安定的に生産するため、農地、農道、用排水路等の農業生産基盤の整備を促進した。

特に、吉野川や那賀川の下流域で、良質な農業用水の確保と機能性の高い農地の整備・保全を推進した。

また、林業・木材産業の振興等を通じた山村地域の活性化を図るため、木材の搬出コストの低減や森林の適切な管理に不可欠な林道等の路網整備を推進した。

さらに、安全で快適な漁村づくりや力強い産地づくりを行うため、漁港及び海岸の整備、増殖場などの漁場づくりを計画的・一体的に推進した。  
(水産課・農村振興課・農業基盤整備課・森林整備課)

② 農林地及び漁場の適切な管理と有効利用

農業生産の基盤である農地の有効活用を図るため、担い手への利用集積を推進するとともに、「徳島県耕作放棄地解消基本指針」に基づき耕作放棄地の発生防止及び解消を推進した。

未整備森林の解消に向け、森林所有者等が行う森林管理活動への支援や、所有者の自発的な施業が困難な条件不利地における公的な間伐等を推進した。また、農林地の適切な管理を行うためには、土地の境界を明確化することが必要であるため、「地籍調査」を推進した。

水産物の持続的かつ安定的な確保と漁家経営の向上を図るため、資源管理型漁業の定着化を推進するとともに、密漁等を防止するための漁業取締りを実施し、漁場の秩序ある利用を推進した。  
(水産課・農地計画課・林業振興課・次世代林業戦略室)

(4) 多様な担い手の育成等

① 農山漁村ふるさと回帰プロジェクトの推進

厳しい経済・雇用情勢の中で、離職された方々を積極的に農林水産業の担い手として育成するため、就業を希望する方々への相談窓口を設置するとともに、農業法人や森林組合等でのOJT研修や、認定帰農者制度の活用により、きめ細やかな受入体制の整備を図った。  
(教育研修課・農林水産政策課・水産課・次世代林業戦略室)

② 農業の担い手の育成

認定農業者や農業法人など意欲と能力のある農業経営者を育成するとともに、次代を担う青年農業者の育成や女性農業者の地域社会への参画促進、集落営農組織の育成などに取り組み、「多様な担い手」の育成確保を図った。  
(教育研修課・農地計画課)

③ 林業の担い手の育成

U・Iターン者を含めた新規林業就業者を幅広く確保するため、労働環境の改善や林業事業体の体質強化を図るとともに、建設業など他産業からの参入を促進するため、新規参入研修を行い、林業知識と技術を有する林業事業体となるよう支援した。  
(次世代林業戦略室)

④ 水産業の担い手の育成

活力ある担い手を確保するため、新たに漁業にチャレンジしようとする者の円滑な就業を支援した。

また、優れた担い手を育成するため、漁村の中核的な存在である青壮年漁業者や女性等の活動を支援した。  
(水産課)

⑤ 農林水産団体の再編整備と検査・指導の実施

農林水産団体における主体的な再編整備により、経営基盤の充実と機能強化に向けた取組みを推進した。また、農林水産団体の健全な運営を確保するため、検査の充実を図り、精度の高い検査を実施するとともに、各団体に対応した迅速な指導に努めた。  
(検査指導課・水産課・農村振興課・次世代林業戦略室)

- ⑥ 農山漁村の人権啓発の推進  
農山漁村地域における様々な人権問題について、人と人との心が通い合う温かい地域社会を形成し、人権尊重の精神を育む活力ある農林水産業を確立するための人権啓発・教育を推進した。  
(農林水産部)
- (5) 地球環境の保全への貢献等
- ① 地球環境の保全への貢献  
農林水産業の自然循環機能を活用することにより、地球環境の保全に貢献する農林水産業を推進するとともに、地球温暖化の防止に関する技術開発、生物の多様性が有する機能の保全、田園環境の再生と創造に努めた。  
また、地球温暖化防止に向けた京都議定書に基づく森林吸収量目標の達成に向け、計画的な間伐や植林等を着実に推進した。  
農業分野における二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の削減に貢献する農業者の取組みを消費者に対してPRし理解促進を図るため、農産物の主要な生産工程における二酸化炭素排出削減算定ソフトを開発するとともに、量販店・直売所において農産物の生産工程におけるCO<sub>2</sub>削減効果を数値化し可視化する「見える化」の取組みを試みた。  
(安全安心農業推進室・次世代林業戦略室)
- ② 環境に配慮した農林水産業の推進  
有機農業をはじめ、有機質資源の循環利用による土づくり並びに化学肥料及び化学合成農薬の使用量の低減等の取組みを進めるとともに、廃プラスチック等使用済農業用資材の適正処理及び畜産バイオマス資源の循環利用など環境に配慮した農業を推進した。  
豊かな森林を目指し複層林・針広混交林への誘導や広葉樹の育成等への支援により、計画的かつ効率的に森林を整備し、多様な健全な森林の育成と管理を推進した。  
環境に与える負荷の軽減や漁業被害の防止を図るため、掃海作業を支援するとともに、稚魚の育成場であり水質浄化機能も有する藻場の造成を推進した。  
(安全安心農業推進室・畜産課・水産課・次世代林業戦略室)
- (6) 新たな技術の開発及び普及  
「農林水産総合技術支援センター」の活動拠点の再編・機能強化を図るため、PFI手法により新拠点を整備することとし、PFI事業者と設計・施設整備等の業務について事業契約を締結し、基本設計を実施した。  
本県農林水産物のブランド力の強化、安全安心な農林水産物の供給、自然環境の保全と地球温暖化対策を一層推進するため、新品種の創出や新たな生産技術の開発、地球温暖化に対応した栽培技術の開発などを行った。  
これらにより得られた成果については、生産現場へ速やかに普及を図った。  
また、試験研究や普及活動の事業効率と透明性を高めるため、学識経験者などによる外部評価を実施した。  
(企画研究課・普及指導課)
- (7) 農商工連携の促進  
農林水産物の消費拡大と新たな需要を創出するための研究開発や農業者の取組み等に対して支援した。また、徳島大学工学部に農業研究所等の専門職員を派遣する等、農商工連携の取組みを促進した。  
(企画研究課・農林水産政策課・とくしまブランド戦略課・水産課)
- 3 本県の特長を生かした魅力あふれる農山漁村の活性化

生産基盤や生活環境基盤の整備を一体的に進め、多様な農林水産物や豊かな自然環境を活かして、農山漁村地域の活性化を図るとともに、高速道路の新料金等を活用した農山漁村と都市との交流の促進や、高齢者や女性にとっても働きやすい農山漁村を目指した。

(1) 魅力ある農山漁村づくり

自然景観等を活用した魅力ある地域づくりを進めるため、住民参加による計画づくりを進め、豊かな環境や景観に配慮しつつ、区画整理や農業用排水施設等の生産基盤と、集落道、営農飲雑用水施設及び集落排水施設等の生活環境基盤を一体的に整備し、農山漁村における快適な生活環境づくりを推進した。  
(水産課・農村振興課)

(2) 中山間地域等への支援

集落の将来像の明確化とその実現に向けた活動を促進し、耕作放棄の防止や多面的機能の確保を図るため、生産条件の不利な農地や漁業集落を対象に、「中山間地域等直接支払事業」・「離島漁業再生支援交付金事業」を実施するとともに、生産基盤や生活環境基盤の整備を一体的に行い、地域の活性化を図った。  
(水産課・農村振興課)

(3) 農山漁村と都市との交流促進

県民の健康的でゆとりのある生活の達成と農山漁村の活性化を図るため、農山漁村の持つ自然、歴史、文化等の魅力ある地域資源情報の発信や、とくしま農林漁家民宿の普及を図るなど、都市と農山漁村との交流を促進した。  
(水産課・農村振興課)

(4) 鳥獣による被害の防止

野生鳥獣による被害防止を効果的に進めるため、庁内総合窓口の「徳島県鳥獣被害防止センター」を中心に、県・市町村等との緊密な連携のもと、人材の育成、被害調査等を推進するとともに、地域ぐるみの活動、被害防止柵や捕獲檻等の設置に対する支援及び銃器による一斉捕獲、捕獲檻による捕獲実証を行った。  
(水産課・農村振興課)

(5) 自然災害に強い農山漁村づくり

自然災害から県民の生命・財産を守るため、「災害予防」の観点から関連事業を実施し、自然災害に強い農山漁村づくりを推進するとともに、台風等により被災した農林地や農林水産施設の災害復旧を推進した。  
また、県土の保全、水源のかん養等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、保安林の整備拡充及び林地開発許可制度による森林の適正な管理・保全を推進した。  
(水産課・農業基盤整備課・森林整備課)

4 県民等の参画及び協働による潤いと安らぎのある農山漁村の保全

(1) 県民等の農林水産業への参画等

森林・林業に対する県民の理解を深めるため、「県立高丸山千年の森」や「県立神山森林公園」等を拠点に、各種体験活動や普及啓発事業を実施した。  
(林業振興課)

(2) 多様な主体の協働による農山漁村の保全活動の推進等

企業やボランティア団体、県民とのネットワークづくりを進め、県民等の協働による農山漁村の保全を推進した。  
二酸化炭素の排出を植林や間伐等の森林整備で埋め合わせるカーボン・オフセットの考え方を導入した企業や県民との協働による森づくりを推進した。  
また、農地・農業用施設等の良好な保全と質的向上を図るため、「農地・水・農村環境保全向上活動支援事業」によって、地域ぐるみの保全活動を支援した。  
(安全安心農業推進室・水産課・農村振興課・林業振興課)

## II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 豊かで充実した食料の提供		
(1) 食料供給機能の強化による食料自給率の向上等	水田活用強化戦略実証事業	戸別所得補償制度の活用方針である「徳島県水田活用強化戦略」に基づき、水稻と園芸品目、麦、大豆等を組み合わせた徳島型水田農業の現地実証を行うとともに米穀等の需要拡大の取組みを支援した。 ( 1,634 )
(2) 安全で安心な食料の安定的な供給のための体制の強化等	次世代「とくしま安 <sup>2</sup> 農産物」認証事業	トレーサビリティシステムを活用した県独自の農産物認証制度である「とくしま安 <sup>2</sup> 農産物」認証制度により、県産農産物に対するより一層の信頼の確保を図った。更に、農産物の安全性を確保するために主流となつてつある工程管理手法（GAP）を導入し、再構築を行った。 ( 9,039 )
	家畜防疫衛生対策と畜産物の安全性確保	家畜伝染病の発生防止と防疫体制の強化、産業動物獣医療の安定確保及び生産段階における畜産物の安全性確保等を推進したほか、死亡牛のBSE検査を実施した。特に、「口蹄疫」、「高病原性鳥インフルエンザ」の発生防止と発生等に迅速かつ的確に対応するため、生産段階での防疫対策を推進するとともに、防疫演習の実施や資機材の確保など防疫体制の充実を図った。更に、病性鑑定機能を強化するため、施設の整備を図った。 ( 146,516 )
(3) 食育・地産地消の推進	とくしま食育推進事業	関係者と連携の上「第2次徳島県食育推進計画」を策定し、「食育」を総合的かつ計画的に推進するとともに、「とくしま食事バランスガイド」の普及や、「新鮮 なっ!とくしま」号を活用した食育イベントを開催する等、各種食育推進キャンペーンを実施し、県民運動としての「食育」を推進した。 ( 2,282 )
	とくしまの食と農を守る地産地消推進モデル事業	徳島県における「地産地消推進月間（11月）」において、県内消費者の徳島産に対する意識を高めるためのモデル事業を実施するなど、生産者、販売業者、消費者が協働で地産地消を推進し、生産者、消費者双方にメリットのある取組みを展開した。 ( 645 )
2 活力ある農林水産業の振興		
(1) 新鮮とくしまブランド戦略の展開	躍る!とくしまブランド推進事業	「とくしまブランド飛躍戦略」を効果的に推進するために、会議の開催や戦略の検証、統一ロゴマークの普及、ホームページ等の活用による「とくしまブランド」を強く印象づけるための取組みを進めた。また、徳島県のマスコット「すだちくん」の有償使用制度を創設したことにより、県のイメージアップに取り組んだ。 ( 2,062 )



	躍る！とくしまブランド展開事業	徳島県産品を積極的に販売する「とくしまブランド協力店」や「とくしまブランドサポーター」によるPR活動により、効果的な県産農林水産物の販売促進を図った。 ( 11,068 )
	「新鮮 なっ！とくしま」号運行事業	「新鮮 なっ！とくしま」号を活用し、農林水産物と観光・物産、文化などの資源を総合的に情報発信することで、「徳島ならではの」のPRを展開し、効果的な「とくしまブランド」の浸透を図った。 ( 23,523 )
	魅せる！とくしまブランド事業	「とくしまブランド」を全国のトップブランドとして育成するために、実需者を対象とした「とくしまブランドSHOW」や「とくしまブランドフェア」等を実施し、即効的かつ戦略的なPRを展開した。 ( 4,423 )
	「徳島の活鰹」PR事業	「徳島の活鰹ブランド確立対策協議会」の有する「指定料理店制度」を活用したキャンペーン等を活用し、県産ハモのさらなる認知度向上、消費拡大を図った。 ( 3,800 )
	鳴門わかめ増産支援事業	「芽生えわかめ」の販路開拓等によるブランド力アップを図るとともに、わかめ養殖の複数作を実証し経営モデルを構築するなど、鳴門わかめの増産体制整備を支援した。 ( 537 )
(2) 活力ある農林水産業の振興		
① 農業の振興		
ア 園芸産地の育成強化	とくしまブランド産地推進事業	「ブランド産地強化計画」の目標達成に向けた取組みを支援し、ブランド産地の供給力の強化を図った。 ( 5,000 )
イ 多様な水田農業の推進	水田活用強化戦略実証事業(再掲)	戸別所得補償制度の活用方針である「徳島県水田活用強化戦略」に基づき、水稻と園芸品目、麦、大豆等を組み合わせた徳島型水田農業の現地実証を行うとともに米穀等の需要拡大の取組みを支援した。 ( 1,634 )
ウ 畜産業の振興	家畜畜産物の価格安定対策	肉用牛及び肉豚価格の低落時に、価格差補填金を交付する基金の造成積立金の一部を助成し、もって肉用牛及び養豚経営の安定を図った。 ( 15,027 )
	畜産物の安定供給と消費拡大	県産ブランドの「阿波牛」、「阿波ポーク」、「阿波尾鶏」などの生産と消費拡大対策を実施した。特に、「阿波尾鶏」は地鶏として出荷量日本一の地位を確立した。また、生産性の向上や省エネ・省力化等にチャレンジする取組みを支援した。 ( 199,529 )

	家畜改良と新技術の普及	乳用、肉牛飼育農家の経営安定化を図るため、優良遺伝子の採卵・移植を促進し、高能力牛群の整備を図った。また、乳用牛群の泌乳能力等について検定を実施し、牛群の改良増殖及び飼育管理の改善などに活用することにより、酪農経営の生産力向上を図った。 ( 6,346 )
② 林業の振興 ア 林業飛躍プロジェクトの推進	林業飛躍とくしま基盤整備促進事業 新間伐システム導入支援事業 新間伐システム新規参入支援事業	「新間伐システム」で使用する高性能林業機械の導入と作業道の開設を行い、山元からの直送によるコストダウンを促進し、効率的な搬出間伐を進めた。 ( 623,515 ) 搬出間伐の採算性の改善に必要な高性能林業機械の導入を支援した。 ( 9,328 ) 建設業の林業参入を支援するよう、森林組合等との連携により実践的な技術研修を実施した。 ( 9,744 )
イ 県産木材の供給確保	林業飛躍とくしま木材戦略対策事業 地域中核木材産業連携事業 林材業振興対策	製材加工施設等の整備に対し支援を行い、良質材から低質材に至る間伐材等の効率的な加工・流通体制の構築を図った。 ( 45,267 ) 地域の中核となる製材業者と周囲の小規模製材業者等が連携を図り、地域全体の製品生産の再編・分業等を進めることにより競争力を高め、生産流通体制の強化を図った。 ( 7,841 ) 木材の生産・流通・加工を行う事業者の経営基盤の強化を図るため、金融機関と協調した低利資金の融通や、地域の木材流通情報の収集、加工技術の向上研修等を実施した。 ( 2,304,150 )
ウ 県産木材の利用推進	徳島すぎの家づくり広域ネットワーク化促進事業 ゆとりあんしん「徳島すぎの家」モデル事業 森を木づかう住宅資金貸付事業	「徳島すぎ」のブランド化により県産材需要を拡大するため、「徳島すぎの家づくり協力店」によるネットワークを構築し、住宅資材展への出展や住宅展示会の開催を行った。 ( 10,463 ) 戸建て住宅への県産材使用と耐震性向上を進めるため、「徳島すぎの家づくり協力店」が設計・施工する耐震性に優れた県産木造住宅に対し、県産材を提供した。 ( 2,022 ) 木材の利用が森林の整備や地球温暖化防止などに貢献することから、県産木材を利用した住宅建築等に対して低利資金の貸付を行った。 ( 17,683 )

	先駆的木造公共施設整備事業	<p>展示効果やシンボル性が高く波及効果が期待でき、地域材の利用を促進するうえで先駆性のある木造公共設備の整備を支援した。</p> <p style="text-align: right;">( 168,766 )</p>
I 林業対策の加速化	森林整備加速化・林業飛躍事業	<p>「森林整備加速化・林業飛躍基金」を造成・活用し、間伐などの森林整備から、路網、林業機械、木材加工施設、木造公共施設等の整備までを一体的・総合的に支援した。</p> <p style="text-align: right;">( 1,771,398 )</p>
③ 水産業の振興 7 水産資源の安定的な生産	栽培漁業関係事業	<p>栽培漁業基本計画を推進するとともに、定着性及び広域回遊性の特定魚種について、栽培漁業の定着化、放流効果等の把握、資源量のモニタリングを実施した。</p> <p style="text-align: right;">( 3,954 )</p>
	種苗生産施設管理費	<p>栽培漁業を推進することで沿岸漁業の振興を図り、栽培漁業基本計画に規定された水産種苗を生産した。</p> <p style="text-align: right;">( 171,728 )</p>
	浅海内水面増殖対策	<p>内水面における水産資源の維持増産対策を推進するとともに、浅海域を含めた各種養殖事業に対する技術指導を行い、漁業経営の安定向上を図った。</p> <p style="text-align: right;">( 6,828 )</p>
(3) 優良な生産基盤の整備及び保全	水田の整備	<p>農業の生産性の向上を図るとともに水稲と園芸作物、麦、大豆などを組み合わせた活力ある多様な水田農業を展開するため、地域に応じたほ場条件の整備を推進した。</p> <p style="text-align: right;">( 740,632 )</p>
	農業用排水路等の整備	<p>農業用水の安定的・効率的な供給と、排水不良等を解消するため、かんがい排水事業等により、農業用排水路の整備を推進した。</p> <p style="text-align: right;">( 366,199 )</p>
	農道の整備	<p>農産物の流通及び農村環境の改善に資するため、広域農道をはじめとする基幹的農道から末端ほ場に至るきめ細かな農道網の整備を推進した。</p> <p style="text-align: right;">( 726,406 )</p>
② 林業生産基盤の整備	森林環境保全整備事業	<p>森林の適正な整備による公益的機能の発揮や林業飛躍プロジェクトの推進を図るよう、団地間伐の実施を中心に森林整備と路網の整備を図った。</p> <p style="text-align: right;">( 1,668,064 )</p>

	森林居住環境整備事業	広域的な森林整備や森林の総合利用のための骨格的な林道整備を推進するとともに、山村地域の生活環境の改善を図った。 ( 1,506,701 )
	県単独林道開設事業	林道の開設・改良等の助成を行い、林業の効率的な経営を支援した。 ( 54,636 )
③ 漁業生産基盤の整備	漁港漁場整備事業	沿岸漁業の拠点となる多面的機能をもつ漁港及び周辺環境の整備、豊かで潤いのある海岸の創出を推進した。また、新たな漁場の造成・整備を進め、漁場生産力の増大と水域環境の保全を図った。 ( 529,277 )
④ 農林地及び漁場の適切な管理	地籍調査事業	土地の境界を明確にし、農林地の適切な管理を行うために、地籍調査事業を推進した。 ( 644,000 )
	耕作放棄地解消促進実証事業	耕作放棄地解消対策を促進するため、生産現場における解消意識を醸成するとともに、多様な主体による耕作放棄地解消の取組みを促進した。 ( 2,300 )
	森林整備地域活動支援交付金事業	森林所有者等が行う計画的な森林施業の実施に不可欠な区域の明確化、歩道の整備及び施業の集約化に必要な森林情報の収集活動に対して支援を行った。 ( 84,364 )
	資源回復計画推進事業	資源回復計画に基づいて漁業団体が実施する漁獲努力量削減措置に対する取組みを支援した。また、海洋生物資源の保存及び管理に関する法律により義務づけられた生物資源の管理を行うために、漁獲情報を迅速・的確に収集解析する処理システムを運用した。 ( 7,675 )
(4) 多様な担い手の育成等		
① 農業の担い手の育成	農村の優れた担い手の育成・確保	地域農業の主たる担い手である認定農業者等の経営改善を支援するとともに、団塊の世代等の円滑な就農を支援するなど、多様な人材の農業への就業機会の確保・創出を行い、本県の農業を支える担い手の確保を図った。 ( 8,760 )
	農山漁村のがんばる女性飛躍サポート事業	農山漁村における男女共同参画社会の実現に向けた取組みを行った。 ( 1,030 )
② 林業の担い手の育成	林業労働対策費	林業労働者の安全衛生の推進、新規就業者の確保促進技術研修会の開催等を行うとともに、林業事業者の体質強化、就労環境の改善を支援した。 ( 33,294 )

<p>③ 漁業の担い手の育成</p>	<p>漁業生産の担い手確保・育成総合対策モデル事業</p>	<p>新規就業者の確保に取り組む漁協を「モデル漁協」として選定し、研修生の自立や漁村への定着に向けた取組みを支援するとともに、優れた担い手を育成するため、「漁業士」の認定や、関係団体の活動支援、各種研修会を開催した。</p> <p style="text-align: right;">( 1,244 )</p>
<p>④ 農林水産団体の再編整備と機能強化</p>	<p>農業団体の再編整備対策 森林組合指導費 水産業協同組合指導事業</p>	<p>農林水産業を取り巻く環境の変化に対処し、農林水産団体の経営基盤と事業機能の強化を図るため、組織体制の整備を中心に対策を講じた。</p> <p style="text-align: right;">( 449,166 )</p>
<p>⑤ 農山漁村の人権啓発の推進</p>	<p>人権啓発の推進</p>	<p>農林漁業団体の推進員に対し、同和問題をはじめとする人権問題の正しい理解と認識を促進した。</p>
<p>(5) 地球環境の保全への貢献等</p> <p>① 環境に配慮した農業の推進</p>	<p>環境保全型農業推進費</p>	<p>農業の持つ自然循環機能の維持増進を図り、農産物の収穫量や品質を維持しつつ、堆肥による土づくりを基本に化学肥料や農薬の投入を削減する新たな農業技術に取り組む「持続性の高い農業」を推進した。</p> <p style="text-align: right;">( 4,918 )</p>
	<p>使用済農業資材適正処理対策事業</p>	<p>農業用フィルムや農薬等の使用済み生産資材の適正処理を図るため、回収処理体制の整備やリサイクルを促進するとともに、排出量の削減のための啓発を行った。</p> <p style="text-align: right;">( 1,564 )</p>
	<p>資源循環型畜産の確立</p>	<p>家畜排泄物の適正処理や未利用資源の利活用等を推進した。</p> <p style="text-align: right;">( 96,712 )</p>
<p>② 多様な森林づくり</p>	<p>条件不利森林公的整備緊急特別対策事業</p> <p>県単独多様な森づくり推進事業</p> <p>森林計画編成事業</p>	<p>森林所有者による自主的な整備が進まない条件の悪い森林の整備のため、公的な間伐を実施し、地球温暖化防止に向けた森林吸収源の整備を促進した。</p> <p style="text-align: right;">( 400,000 )</p> <p>搬出間伐の促進や、広葉樹及び共生林の整備など、多様な森林の整備を支援した。</p> <p style="text-align: right;">( 22,067 )</p> <p>森林を適切かつ計画的に整備していくため、森林の現況や資源状況に関する調査を実施し、地域森林計画を編成した。</p> <p style="text-align: right;">( 10,821 )</p>
<p>③ 漁場環境の保全</p>	<p>漁場環境保全創造推進事業</p>	<p>海域の漁場としての機能を維持・回復させるため、海底堆積物の除去を行った。</p> <p style="text-align: right;">( 9,096 )</p>

	<p>漁場環境保全創造事業</p>	<p>沿岸域の漁業資源を維持・増大させるため、産卵場や幼稚魚の育成場として重要な藻場を造成した。 ( 95,109 )</p>
	<p>水産資源保護対策事業</p>	<p>漁場環境の監視、赤潮及び貝毒等に係る調査、情報の収集・伝達等を円滑に行い、漁場環境の保全と漁業被害の防止を図った。 ( 767 )</p>
<p>(6) 新たな技術の開発及び普及</p>	<p>新たな先端技術の開発と普及</p>	<p>本県農林水産物のブランド力の強化、安全安心な農林水産物の供給、自然環境の保全と地球温暖化対策を一層推進するため、新品種の創出や新たな生産技術の開発、地球温暖化に対応した栽培技術の開発などを行った。 ( 21,124 )</p>
	<p>農林水産総合技術支援センター整備運営事業</p>	<p>農林水産総合技術支援センターの再編・新拠点整備を進めるため、PFI事業者と設計・施設整備等の業務について事業契約を締結し、基本設計を実施した。 ( 15,258 )</p>
<p>(7) 農商工連携の促進</p>	<p>農商工連携の促進</p>	<p>農林水産物の消費拡大と新たな需要を創出するための研究開発や農業者の取組み等に対して支援した。また、徳島大学工学部に農業研究所等の専門職員を派遣する等、農商工連携の取組みを促進した。 ( 1,851 )</p>
<p>3 魅力あふれる農山漁村地域の活性化</p>		
<p>(1) 魅力ある農山漁村づくり</p>	<p>集落排水事業</p>	<p>農山漁村における快適な生活環境づくりに資するため、集落排水施設の整備を推進した。 ( 151,048 )</p>
<p>(2) 中山間地域等への支援</p>	<p>中山間地域等直接支払事業</p>	<p>中山間地域等において、農業生産活動を継続しながら耕作放棄の発生を防止し、多面的機能を確保するために実施する中山間地域等直接支払制度の円滑な推進を図った。 ( 301,978 )</p>
	<p>農村の総合的環境整備</p>	<p>農村の地域環境を総合的に整備するとともに、中山間地域の総合的な整備を行い、地域の活性化を図った。 ( 427,162 )</p>
	<p>離島漁業再生支援交付金事業</p>	<p>離島の漁業集落が行う生産力向上や新たな取組みを支援することにより、離島漁業の活力再生を目指すとともに、水産業及び漁村の有する多面的機能の維持増進を図った。 ( 4,740 )</p>

(3) 農山漁村と都市との交流促進	山村振興対策事業	農山漁村の活性化を図るため、グリーンツーリズムの推進や、とくしま農林漁家民宿の普及、定住促進生活環境の整備を実施した。 ( 1,500 )
(4) 野生鳥獣による農林水産物被害対策の推進	未来を守る！鳥獣害に強い農山育成事業	鳥獣被害に対する総合的施策として、被害調査を実施するとともに、市町村等に体制整備、新たな防止技術の検討・普及に対する支援を総合的に推進した。 ( 2,970 )
	鳥獣被害防止総合対策事業	鳥獣被害防止施設等の導入整備及び地域体制整備などハード・ソフト両面から対策を支援した。 ( 13,954 )
	鳥獣捕獲緊急対策事業	ニホンジカの銃器による一斉捕獲や簡易捕獲檻による捕獲実証の取組みを支援した。 ( 20,000 )
	カワウ食害防止対策事業	カワウによるアユ等に対する被害を防止するため、漁業者が行う追い払いや駆除などに対して支援を行った。 ( 1,530 )
(5) 自然災害に強い農山漁村づくり	農地防災事業等の推進	自然災害の発生を未然に防止し、農地や農業用施設の機能回復や保全を図るとともに、吉野川や那賀川下流域等において、良質で安定した農業用水を確保するため、国営事業と連携し、農地の整備と保全を図った。 ( 2,551,258 )
	治山事業	荒廃林地の復旧と予防、水資源の確保、集落の保全等、山地災害を未然に防止し、森林の有する公益的機能の向上を推進した。 ( 1,968,904 )
	林野地すべり防止事業	地すべり防止区域内での豪雨等により発生または拡大した地すべりについて防止工事を実施した。 ( 411,317 )
	県単独治山事業	山地の崩壊地復旧及び予防工事を実施した。 ( 56,100 )
	漁港海岸保全施設整備事業	漁港海岸における堤防、護岸及び突堤等の新設・改良を行い、台風・高潮等による災害の防止と民生の安定を図った。 ( 162,417 )
	県管理漁港維持補修費	県管理漁港13漁港の維持補修を実施した。 ( 78,032 )

<p>4 県民等の参画及び協働による農山漁村の保全</p> <p>(1) 「地域共同活動」への支援</p> <p>(2) 協働による森づくり</p>	<p>農地・水・環境保全向上対策</p> <p>中山間ふるさと水と土保全対策</p> <p>海をキレイに支隊応援事業</p> <p>環境・生態系保全活動支援事業</p> <p>緑化運動推進事業</p> <p>とくしま協働の森づくり事業</p> <p>高丸山千年の森整備事業費</p> <p>神山森林公園管理運営費</p>	<p>農業の持続的な発展と、農業用水路、農道、農地等が有する防災、環境、景観等の多面的機能を維持発揮させていくため、地域ぐるみで行う保安全管理活動、並びにこれらの地域における大幅な環境負荷の低減を図るための先進的な営農活動に対し支援した。</p> <p>( 68,896 )</p> <p>中山間地域を中心として、土地改良施設と農地の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化に資するため、人材の育成や施設の利活用及び保全整備の推進の支援を行った。</p> <p>( 5,542 )</p> <p>ボランティア団体と海岸清掃に関するアドプト契約を締結し環境美化に取り組むことで、美しい海岸を守るとともに、漁業機能の回復と漁場環境の保全を図った。</p> <p>( 48 )</p> <p>藻場は水産資源の保護育成に重要な役割を果たし、水質浄化等の公益的機能の発揮を支える社会の共通資源である。藻場の保全活動を行う漁業者・地域住民と協働して藻場の保全を図った。</p> <p>( 781 )</p> <p>緑化や森林、森づくりに対する県民の理解を高め「県民参加の森づくり」を促進するため、普及啓発活動を実施するとともに、体制の整備を図った。</p> <p>( 3,127 )</p> <p>カーボン・オフセットの仕組みを導入し、県民や企業と協働して、植林や間伐などの森づくりを実施した。</p> <p>( 7,331 )</p> <p>森林や施設の管理のほか、各種体験活動や普及啓発活動を実施した。</p> <p>( 17,745 )</p> <p>公園の管理のほか、各種体験活動や普及啓発活動を実施した。</p> <p>( 71,139 )</p>
--	--	--



Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位:円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
農林水産技術支援統括本部 (農林水産総合技術支援センター)	570,957,000	526,444,798	526,444,798	0	0	△ 44,512,202
農 林 水 産 政 策 課	122,135,000	119,920,368	119,920,368	0	0	△ 2,214,632
検 査 指 導 課	300,000,000	300,134,250	300,134,250	0	0	134,250
とくしまブランド戦略課 (安全安心農業推進室)	67,174,000	67,687,233	67,687,233	0	0	513,233
畜 産 課	366,274,000	369,895,762	369,895,762	0	0	3,621,762
水 産 課 (漁業調整室)	1,297,803,000	822,618,540	822,585,910	0	32,630	△ 475,217,090
農 村 振 興 課	792,758,000	731,613,124	729,817,729	1,795,395	0	△ 62,940,271
農 業 基 盤 整 備 課	2,817,346,000	2,411,046,316	2,411,036,924	0	9,392	△ 406,309,076
農 地 計 画 課	602,817,000	554,758,000	554,758,000	0	0	△ 48,059,000
林 業 振 興 課 (次世代林業戦略室)	7,492,662,000	6,646,080,493	6,646,080,493	0	0	△ 846,581,507
森 林 整 備 課	4,166,359,460	3,254,526,992	3,251,183,992	0	3,343,000	△ 915,175,468
計	18,596,285,460	15,804,725,876	15,799,545,459	1,795,395	3,385,022	△ 2,796,740,001

## (2)歳出決算額

(単位:円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
農林水産技術支援統括本部 (農林水産総合技術支援センター)	2,943,804,000	2,866,428,841	50,000,000	27,375,159	77,375,159
農 林 水 産 政 策 課	824,824,000	814,514,531	0	10,309,469	10,309,469
検 査 指 導 課	415,733,000	415,139,140	0	593,860	593,860
とくしまブランド戦略課 (安全安心農業推進室)	541,131,000	521,836,397	0	19,294,603	19,294,603
畜 産 課	922,017,000	874,541,329	19,722,000	27,753,671	47,475,671
水 産 産 業 調 整 室 課 (漁業調整室)	2,502,264,892	1,668,486,240	769,919,129	63,859,523	833,778,652
農 村 振 興 課	1,350,429,650	1,234,484,890	113,120,000	2,824,760	115,944,760
農 業 基 盤 整 備 課	7,696,881,000	6,562,532,843	958,869,000	175,479,157	1,134,348,157
農 地 計 画 課	922,188,000	849,726,696	71,250,000	1,211,304	72,461,304
林 業 振 興 課 (次世代林業戦略室)	9,196,829,672	6,961,894,290	2,118,207,000	116,728,382	2,234,935,382
森 林 整 備 課	7,263,807,800	5,670,839,438	1,491,460,870	101,507,492	1,592,968,362
計	34,579,910,014	28,440,424,635	5,592,547,999	546,937,380	6,139,485,379

2 特別会計決算額  
 (1)歳入決算額

(単位:円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	農業改良資金貸付金 特 別 会 計	313,273,000	533,858,924	512,505,577	0	21,353,347	199,232,577
	林業改善資金貸付金 特 別 会 計	10,241,000	402,485,222	396,617,820	0	5,867,402	386,376,820
	沿岸漁業改善資金 貸付金特別会計	53,536,000	211,877,267	211,877,267	0	0	158,341,267
	計	377,050,000	1,148,221,413	1,121,000,664	0	27,220,749	743,950,664
林 業 振 興 課	県有林県行造林事業 特 別 会 計	123,877,000	116,378,017	116,378,017	0	0	△ 7,498,983
	港湾等整備事業 特 別 会 計	118,000	1,320,645	1,320,645	0	0	1,202,645
	計	123,995,000	117,698,662	117,698,662	0	0	△ 6,296,338
合 計		501,045,000	1,265,920,075	1,238,699,326	0	27,220,749	737,654,326

## (2)歳出決算額

(単位:円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	農業改良資金貸付金 特 別 会 計	313,273,000	306,931,427	0	6,341,573	6,341,573
	林業改善資金貸付金 特 別 会 計	10,241,000	4,859,787	0	5,381,213	5,381,213
	沿岸漁業改善資金 貸付金特別会計	53,536,000	53,455,353	0	80,647	80,647
	計	377,050,000	365,246,567	0	11,803,433	11,803,433
林 業 振 興 課	県有林県行造林事業 特 別 会 計	123,577,000	115,649,519	0	7,927,481	7,927,481
	港湾等整備事業 特 別 会 計	118,000	35,242	0	82,758	82,758
	計	123,695,000	115,684,761	0	8,010,239	8,010,239
合 計		500,745,000	480,931,328	0	19,813,672	19,813,672